

藤野地区学校配置検討委員会ニュース

2025年2月発行

藤野地区では、藤の沢小学校の小規模化による課題の解決等のため、令和5年3月より「学校配置検討委員会」を設置し、検討を進めております。

この度、令和6年12月10日に第8回学校配置検討委員会を開催いたしました。検討状況につきまして、地域の皆様へお知らせしますので、**是非とも多くのご意見をお寄せください。**

検討委員会の開催概要は札幌市教育委員会のホームページにも掲載しています。

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/fujino.html>



※第8回配布資料：地域から寄せられた意見（2件）、意見書案についてなど

協議事項1 避難所について

前回（第7回）の協議を踏まえて、現在、基幹避難所に指定されている藤の沢小学校が閉校となった場合の「避難所」の考え方について、避難所を担当する危機管理局から説明を行いました。

【説明内容】

- ・ 基幹避難所と地域避難所の違いについて
- ・ 避難所設置の考え方について

基幹避難所

- ・ 災害の危険がなくなるまで一定期間滞在し、又は災害により自宅へ戻れなくなった被災者等が一時的に滞在する施設。

地域避難所

- ・ 災害の危険がなくなるまで一定期間滞在し、又は災害により自宅へ戻れなくなった被災者等が一時的に滞在し、基幹避難所を補完する施設。状況に応じて開設し、一定期間後は、基幹避難所に集約する。

[参考：避難場所等(南区)の一覧]



意見・質疑応答の概要

※類似の発言内容をまとめるなど文言を整理して掲載しています。

※「●」・・・委員からの意見、質問等

※「⇒」・・・委員、札幌市・教育委員会職員からの説明、回答等

避難所の設置基準について

●藤野地区として、藤の沢小学校が閉校になったとしても避難所は充足しているのか。

⇒【危機管理局】

- ・市の基幹避難所の基準としては、歩行距離2km圏内に存在するよう指定することとしており、避難所の開設状況に応じて避難をしてほしいという考え。
- ・基幹避難所である石山中学校や藤野南小学校については、藤の沢小学校の校区から歩行距離で概ね2km圏内である。
- ・また、昨年5月から札幌育児園が地域避難所として協力いただいている。

協議事項2 意見書案について

※前回（第7回）の検討委員会において、これまでの協議結果をまとめた「意見書」素案の提示について、委員のご了承をいただいていたものです。

【協議内容】

- ・事務局から提示した「意見書」の素案【資料3】について、構成や項目の説明を行い、検討委員会におけるこれまでの協議内容に沿っているか確認するとともに、今後意見書を作成していく上で検討が必要な事項について協議を行った。

資料3



1 藤野地区の小学校再編について …※「取組案」の内容を文案化したもの

(1) 小学校再編の考え方

藤野地区の藤の沢小学校と藤野南小学校を再編する。

(2) 小学校再編の実施方法

現在の藤野南小学校校舎及び敷地を活用して再編する。

2 通学区域案等 …※これまでの検討内容を文案化したもの

小学校再編後の通学区域は、藤の沢小学校と藤野南小学校の通学区域を合わせたものにする。

ただし、再編により通学距離が長くなる児童に配慮し、別表(※)のとおり指定変更区域を設定することを望む。

※別表については、HP から閲覧できます。

3 通学安全に関する要望等 …※過去の意見書やこれまでの検討内容に基づき文案化

通学距離が長くなる児童や、新たにバス通学が見込まれる児童もいることから、学校や保護者、地域等は、これまで以上に連携を深め、地域全体の課題として除雪を含めた児童の通学安全に関する取組を充実させていくことが必要と考える。

札幌市と札幌市教育委員会は、これらの取組に協力するほか、バス事業者との協議等を含め、児童が安全かつ円滑に通学できるよう十分配慮すること。

4 その他の要望 …※過去の意見書やこれまでの意見等に基づき文案化

- (1) 小学校の再編に向けて、児童や保護者、学校間の交流事業等を実施するなどし、児童や保護者が安心して再編後の小学校における活動を行える環境を整えること。
- (2) 小学校の再編前後においては、教職員の業務負担増が考えられることから、児童により良い教育環境を整えるため、教員の追加配置等に配慮すること。
- (3) 再編後の小学校においては、両校の特色ある教育内容やその歴史等に配慮しつつ、未来志向の「学校づくり」を進めること。

意見・質疑応答の概要

※類似の発言内容をまとめるなど文言を整理して掲載しています。

※「●」・・・委員からの意見、質問等

※「⇒」・・・委員、札幌市・教育委員会職員からの説明、回答等

通学安全について

- 全体的に簡潔な文言となっているが、これまで協議してきた具体的な内容、例えば、路線バス利用に関して「藤野南小学校前」などの車内アナウンスをしてもらい乗り過ごしを防ぐ工夫が必要などといったことについて、うやむやになるということはないのか。

⇒【教育委員会】

- ・ 通学安全に係る具体的な対応については、今後も学校、保護者、地域、教育委員会、市の関係部署などが連携して協議を進めた上で決定することになる。そのため、意見書としては基本的な考え方を示す方が望ましいと考えている。
- ・ これまで協議いただいた内容、例えば車内アナウンス等、バス利用に関する配慮や通学路の安全対策等に関しては、教育委員会としてしっかりと受け止め、対応について検討していくつもりである。
- ・ 意見書には具体を示していないものもあるが、これまでの検討内容については「検討委員会ニュース」として公にしていることなどから、うやむやになることはないと考えていただいて間違いはない。

意見書素案への意見募集について

- 意見書全文について、保護者を含めた地域の方々が目を通して意見を言う機会はあるか。

⇒【教育委員会】

- ・これまで同様、協議内容については「検討委員会ニュース」として地域にお示しし、意見を募ることになる。今回の協議内容である意見書素案についても同様の対応により保護者を含めた地域の方々に意見を募る考えである。紙面スペースの関係上、全文を掲載できるかは現時点では分かりかねるが、意見書素案の概要が分かりやすく伝わるよう「検討委員会ニュース」の構成を工夫していきたいと考えている。

【協議結果】

- 概ね提案どおりでよいが、詳細については、次回、意見書案についての具体的な協議を行ったうえで、検討委員会としての考えをまとめることとする。

次回の検討委員会について

- ▶会議名 第9回 藤野地区学校配置検討委員会
- ▶開催日時 2025年(令和7年)2月26日火曜日 18時00分～19時30分
- ▶開催場所 札幌育児園(南区藤野6条2丁目427番地4)

※検討委員のみが参加する会議のため、一般の方は入場できません。内容は後日ニュースレターやホームページでお知らせいたします。また、日程は都合により変更となる場合があります。

次回(第9回)検討委員会の議題(予定)

- ▶第8回検討委員会の振り返り
- ▶地域や保護者の皆様から寄せられたご意見等の紹介
- ▶意見書の内容検討について
- ▶その他、当日協議を行う必要があるもの

ご意見、ご質問は、下記事務局までお寄せください。

藤野地区学校配置検討委員会事務局

- ▶札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課(学校配置マネジメント担当)
- ▶電話: 011-211-3836 FAX: 011-211-3837
- ▶E-mail: gakkokibo@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-S01-24-2611
R6-2-1678

SAPPORO